

第1回奈良市バリアフリー基本構想推進協議会 議事録

日時：平成26年8月21日(木)

10時00分～12時00分

場所：奈良市役所北棟6階第21会議室

1. 開会挨拶

(交通政策課長による挨拶)

2. 委嘱状の伝達

3. 市長代理挨拶(市民生活部次長)

(市民生活部次長による挨拶)

4. 各委員紹介及び会長、及び副会長の選出について

【会長の選出について】

- ・三星委員を会長として選出する。

【副会長の選出について】

- ・室崎委員を副会長として選出する。

5. 奈良市バリアフリー基本構想について

【委員のメンバー構成について】

- ・今回は、寺社の方は委員とならないのか。

→今回は委員を辞退されたが、特定事業計画に向けて務局側で調整を行う中で頂いた意見を、委員の皆様にご説明していく形で、参画をお願いしたい。

【重点整備地区外のバリアフリー化、建築物・道路のバリアフリー化について】

- ・重点整備地区以外の地区でも行政関係の施設に基本構想の考え方を反映させるような呼びかけをするべき。特にこれから始まる病院の建設においては、ご留意頂きたい。
- ・名古屋の南生協病院のように、奈良市でも市民と協働して一歩進んだ施設をつくってみてはどうか。
- ・バリアフリー化のモデル的なものを一カ所でもつくれば、それに合わせて一つずつ改善していくことで、一体的にバリアフリー化が進められるのではないかと。

【基本構想の周知について】

- ・せっかくのよい計画であるため、インターネットによる広報以外でも市民の方に周知するための仕掛けを考えていきたい。

6. 今年度の主な取り組み（奈良市バリアフリー特定事業計画の策定） について

7. その他の取り組みと今後のスケジュール

【特定事業計画の内容の確認時期について】

- ・10月11月頃に中間報告として、委員の皆様には提示する。

【寺院神社のバリアフリーについて】

- ・寺院神社も前向きに検討していただいているが、歴史の継承や手続きなど難しい面がある。

【奈良公園の特区申請による規制緩和について】

- ・奈良公園の特区申請による規制緩和と今回のバリアフリー基本構想は何らかの形でリンクできるのかどうか教えていただきたい。

【バリアフリー情報発信の必要性について】

- ・障がいのある方が来ても奈良市は楽しみやすい場所であるということを発信することが必要。観光協会でも、情報発信していきたいのでご配慮いただきたい。

【障がい者の寺院神社における拝観料免除の手続きのバリアフリー化について】

- ・ここに連絡をすれば、一括で承認が下りてくるというようなワンストップサービスが出来れば、手続きのバリアが軽減される。方向性さえ出れば、観光協会の仕事として動けると思う。

【障がい者用駐車スペースについて】

- ・下肢障がい者が車を止めるスペースがほとんどない。

【バリアフリー化に取り組む際の意識について】

- ・今健常者であっても、いつかは障がい者、高齢者になる、自分の問題であるという意識を持ってほしい。

【視覚障がい者にとっての奈良市のバリアフリー課題について】

- ・ホームページは、PDFで情報が掲載されているため、音声で聞き取りにくい。
- ・観光スポットには点字資料がない。所属している会でも、点訳資料の作成に協力してやっていきたいと考えている。また、飲食店にも点字メニューがあればありがたい。
- ・奈良市内の旅館等では、補助犬を同伴していると入館を拒否されるケースもよくある。

【子育て世代にとっての奈良市のバリアフリー課題について】

- ・まだまだベビーカーで押しにくい場所もある。また、授乳スペースやおむつ替えのできる施設が少ない。民間への普及も必要。

【聴覚障がい者にとっての奈良市のバリアフリー課題について】

- ・奈良市には、邦画に字幕が付く映画館がない。映画だけでなく、災害時にも視覚障がい者や聴覚障がい者には情報が伝わりにくいという問題がある。

【その他のご意見】

- ・事例集には奈良市の事例も取り上げると、事業者側もやる気が出ると思う。
- ・もっと生活に近いきめ細やかな部分についても、基本構想に入れてほしいと思う。
- ・特定事業シートは、各事業者が協働でバリアフリーに取り組んでいけるよう考慮してほしい。